

華岳山恩林寺発行



顛飽袋 739

令和5年12月号



写真：妙心寺法堂「雲龍図」



お寺へ行こう 和尚さんと友だちになろう

中山かんのん  華岳山 恩林寺

中山中学校下

☎506-0052 岐阜県高山市下岡本町2779

✉kagakuzan@onrinji.com ☎(0577)34-1245



<https://onrinji.com/>

ゆく年 くる年

ゆく年

『祇園精舎の鐘の声、所業無常の響きあり』 平家物語の巻頭を飾るこの言葉はおごれるものも必ず滅びてゆく、というように何か寂しい印象ですが世の中、良い事も悪い事も待ったなしで過ぎ去つてゆく、ということを表しているものと思います。

さて、令和五年は恩林寺としまして新堂（鳳雅）が禅堂の修業、大学の過程を卒業して高山に帰つてきました。

その後就職し、只今、法務と社会勉強に取り組んでおります。

六月のお施餓鬼、九月の彼岸会

と勤めました中で、秋の彼岸会に

は新堂の修業

仲間であります

同夏の皆さんが

参加してくれ

まして、お互い

健康を喜びあい

友情を確かめ合うことができた

事は近くで見えていて嬉しいことで

した。引き続き、皆様方のご支援



賜りますようお願いを申し上げます。さて年の暮れの作業も

終わりますと除夜の鐘。

総代さん方のご協力で

照明など準備が整います

と23時から百八の鐘をつきま

す。和尚に引き続き、参拝の

皆様に自由について頂きます。

百人とは私たちには百人の煩惱

があり、これを滅除するというご

利益がある、との説や、四苦八苦

$4 \times 9 + 8 \times 9 = 108$ 。はこの算式

によりクリアされるとか、

いずれにしても鐘の音は私たちの

心を浄化してくれます。



くる年

新しい年は各お宮さんでは歳旦祭、お寺では修正会といった行事が催されます、恩林寺では歳旦祝聖しゅくせんと言って元旦の零時より一年の国家安寧、檀信徒様の家門繁栄健康祈願交通安全を祈禱いたします。令和六年は辰年。干支の龍は仏教の守護神。十二支の中で龍だけが架空の生物であり変幻自在、驚異的な能力を持つとされています。また、強いだけでなく品格も備えています。首の下には「如意宝珠にょいほうじゆ」という



何でも望みを叶えてくれるといふ珠を持ちます。龍は天に舞い上がる。令和六年は龍にあやかり運氣を掴みたいものです。さて、禅寺では七堂伽藍しちどうがらんと言われる中に法堂はっぽうどうと云われるお堂があり、ここは大和尚様だいおしょうさまが法を説く(説法する)ところです。この天井には龍の絵が描かれていることがあります。京都、妙心寺法堂、南禅寺法堂、天龍寺法堂、東福寺法堂など、中でも妙心寺の龍の絵は狩野探幽の作として有名です。令和六年はこうしたテーマでお寺を

参拝されるのも意義深いでしょう。



住職合掌

● 12月30日 大掃除・仏前荘厳

● 12月31日 16時〜 歳晚諷経

23時〜 除夜の鐘

● 1月1日

零時〜 歳旦祝聖 (新年のお経)

9時〜 下岡本三寺まいり

願生寺・真光寺・恩林寺新年互礼会

● 1月2日〜5日

檀信徒様宅へ年頭挨拶



華岳山恩林寺

住職 古田 正彦

新堂 小森 鳳雅



小僧さんの



【第二章 十節】 充実の年始

元日未明、禅堂から報鐘ほうしゆんが鳴り

響きます。それを合図かいじゆうに開静太

鼓、雲版が鳴り…

新年最初の

お勤めが始まります。

それが終わると、年頭法要の準

備に移ります。萬福寺の正月三

が日は、大般若転読会が行われ

ます。六百巻ある大般若経を、

手分けして読んでいきます。広げ

て持ち上げた経本はバラバラに落

ちてしまったり、経本を入れる箱



の蓋が閉まらなかつたり…。和尚

さんに大きい声をとの指示がで

て、喉が潰れてしまいました。

午前の法要が終わると、午後か

らは年頭廻りへ。12月の施粥せしゆくを

頂いた方々へ、年始の御挨拶に伺

います。しかし、衣3枚だけでは

寒く、耐えきれません。そこで

足袋の許可が下り、

心も足も暖かく

感じました。そして何より、

迎え入れて下さる方々の心と

笑顔が有難かったです。

年頭法要を終え、次の日には

群馬県の達磨寺へお手伝いに…



のはずが3人限定の招待。

同夏どうげでじゃんけんになりました。

お手伝いだと分かっているも、外

に出られる喜びがあるのです。

こんな時に限って普段の行いの差

がでるもので、私はお留守番。

しかし、数日後に交代でお呼び

頂き、群馬県へ旅2日間伺うこと

ができました。達磨さんの開眼供

養を任され、片目を沢山描きま

した。皆さんの

家の中に、

お茶目な目をした

達磨さんがいたら、私が描いたも

のかもしれない。

